

タイトル	南島原イオンの里山 自然共生サイト認定証授与式
------	-------------------------

南島原イオンの里山が環境省の「自然共生サイト」に認定され、下記のとおり認定証授与式が執り行われます。

記

- 日 時：7月30日（木） 午後1時30分～2時30分
- 場 所：市役所西有家庁舎 3階大会議室
- 出席者：市長、南島原市みんなの森守協議会、九州環境局局长、
公益財団法人イオン環境財団、イオン九州株式会社 ほか

担当部署	農林水産部 農林課	担当者	竹下 尚汰
直 通	0957-73-6661	E mail	nourin@city.minamishimabara.lg.jp
詳しくは ☎		検索ワード	
担当者 連絡先			

「南島原イオンの里山」環境省「自然共生サイト」に認定 —生物多様性保全を推進し「30 by 30目標」達成に向けて—

南島原市と南島原市みんなの森守協議会、公益財団法人イオン環境財団（以下、環境財団）が2010年から環境活動を継続的に取り組んでいる「南島原イオンの里山」が、2026年6月30日付にて地域生物多様性活動促進増進法(2025年施行)により「自然共生サイト」に認定されました。生物多様性保全を推進し「30 by 30目標」達成に向けて環境活動を進めてまいります。

「南島原イオンの里山」のエリアは、1946年の開拓や1978年の無線送信所開発により森の水源涵養の機能が低下し、1990年に無線送信所が廃止した後も荒廃したままとなっていました。水源涵養機能を回復させるため、2010年から南島原市とイオン環境財団は3年間の植樹で地域のボランティアの皆さま3,770名と一緒に計20.5ha 55,500本を植樹しました。

当里山は、植樹から16年が経過し、木々は大きく育ち様々な植物や動物が生息する森となっています。環境教育として、炭素蓄積量調査やタケノコ掘をはじめとした森林学習、さらには星座観察会などを実施し、この里山を訪れる周辺地域との関係人口も増加しています。今回の認定はこの里山での動植物の生育や、さまざまな環境教育活動や今後の活動計画などが評価されたものです。

今後、3者が連携して地域の生態系サービスを支える生物多様性保全に注視した自然と共生する持続可能な循環型管理を実施するとともに、新たな付加価値創造に向けて取り組んでまいります。

※「30 by 30」とは、2022年採択された「昆明・モンテリオール生物多様性枠組」の2030年グローバルターゲットのひとつとして、陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的な保全をしようとする目標です。